



いただきます

給食だより
大崎市岩出山学校給食センター
令和7年1月

あけましておめでとうございます。新しい年を迎えました。寒さはこれから一段と厳しくなります。体調管理に十分に気をつけましょう。

給食センターでは、今年も子どもたちの健やかな成長と健康を祈って、安全でおいしい給食をお届けしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

1月17日



阪神・淡路大震災から30年 災害時の『食』を備えましょう

1995年(平成7)年1月17日に、阪神淡路大震災が発生しました。寒さ厳しい中、被災した人たちを支えたのは、ボランティアによって届けられた炊き出しの「おむすび」です。食料の重要性やボランティアの善意を忘れないように、この日を「おむすびの日」と決めました。阪神淡路大震災から今年で30年になります。この30年の間にも各地で大きな災害が頻発しています。災害発生直後は支援が届かないということを前提に、一人ひとり自分の命は自分で守ることを意識し、普段から備えをしておくことが大切です。

災害時の食の備え



★非常食・日常食品・持ち歩き用品の3つを備えておきましょう。水と熱源は必需品です。

そのまま食べられる

非常食



アルファ化米、缶詰、レトルト食品、菓子類など

ローリングストックで備える

日常食品



お米、乾麺、乾物、日持ちのする野菜・果物、調味料など

外出時の

持ち歩き用品



飲料水、チョコレート・あめなどの菓子

水は調理用も含めて1人1日3リットル必要とされています。できれば1週間分備えておくとう安心です。

1人1日3リットル



カセットコンロとボンベがあれば、温かい料理を食べることができます。あらかじめ使い方を確認しておきましょう。



災害発生直後の食事

避難所などへ避難することも考え、1日分の飲料水と非常食を、非常用持ち出し袋等に入れておきましょう。家にとどまる場合は、冷蔵庫・冷凍庫の中にある腐りやすいものから食べ始めると、食品を無駄にせずに済みます。



家庭で備蓄リストの作成を！

家族の好みや状況によって必要な物は異なります。家庭で備蓄リストを作成し、必要な物を準備しておきましょう。



赤ちゃん用ミルク、食物アレルギー対応食品、介護用食品など